

<b>トリフルミゾールくん煙剤</b> <b>トリフミンジェット</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日本曹達  <b>原体メーカー：</b> 日本曹達
<b>成分：</b> トリフルミゾール〔エルゴステロール生成阻害剤〕…10.0%	<b>性状：</b> 灰色発煙性中空円板状 外径65mm、内径20mm、高さ15mm、1個50g  <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 作用機作，特性はトリフミン水和剤の項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 防除しようとする室の戸や窓を閉め，室内の可燃物を取り除き，室内の容積によって使用量を決め，くん煙個所を数カ所に分けて配置し，煙が万遍なく行きわたるようにする。
- くん煙する場合は，添付の吊具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙する。吊具及び電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さで吊り下げるか又は不燃性の台などの上にのせて使用する。なお，植物体，可燃物から離れた中央の安全な場所に設置する。特にビニール等の被覆材とは60 cm以上離れた位置で使用する。
- 点火は以下のとおりに行う。
  - 点火紙を用いる場合，同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置しその上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。点火紙を薬剤の上にのせて点火すると炎が出るのでさける。
  - 発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消す。
  - 点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまま放置する。
  - 電気式点火・くん煙装置を使用する場合装置は水などに濡れないように設置し，電源が

オフになっていることを確認の上，薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電する。点火後発煙したら電源のオフを確認し，くん煙室の外に出てそのまま放置する。発煙直後に万一炎が出た場合においても，再びくん煙室に入らずに，そのまま放置する。

○点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らない。

- 通常くん煙は夕刻農作業後に行う。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 室外で強い風が吹いている時は，煙が片寄ってしまい，均一な効果がでにくいので使用しない。
- 適用作物（きゅうり，ピーマン，なす，メロン，トマト，いちご）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8，適用作物群に関する注意事項を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 点火後は，発煙を確かめたら直ちに退室し，開放後，十分換気してから入室する。



【適用と使用方法】 .....

作物名	適用場所	適用病害名	使用量		使用時期 (収穫前)	本剤及びトリフル ミゾールを含む農 薬の総使用回数	使用 方法	
きゅうり すいか いちご ピーマン ししとう メロン さやえんどう 実えんどう	温室、ビ ニールハ ウス等密 閉できる 場所	うどんこ病	くん煙室容積400m <sup>3</sup> (床面積200m <sup>2</sup> × 高さ2m) 当り	50 g	前日まで	5回以内	くん煙	
トマト ミニトマト		葉かび病						
なす		うどんこ病 すすかび病						4回以内
ズッキーニ ズッキーニ(花)		うどんこ病			14日前 まで	3回以内		
ふき								
ばら きく		白さび病		100 g	—			
こんにゃく		乾腐病	くん煙室容積2m <sup>3</sup> (床面積1m <sup>2</sup> × 高さ2m) 当り	50～ 100 g	植付前	1回		
チューリップ		球根腐敗病	くん煙室容積1m <sup>3</sup> 当り	50 g				